

令和2年度 堺市 ICT 戦略推進本部会議（第2回）議事要旨

1 日時

令和2年8月18日（火） 10:30～11:00

2 場所

本館4階 秘書課会議室

3 議事案件

案件1 堺市 ICT 戦略（案）の策定について

4 議事要旨

<案件1>

【事務局 案件説明】

（上下水道局長）

「堺市 ICT 戦略」を「堺市官民データ活用推進計画」に位置付けるということであるが、上下水道局でも、「堺市 ICT 戦略」を受けて推進計画を作成する予定である。確認になるが「堺市 ICT 戦略」では、アクションプランを作成する予定はあるのか。

（ICT イノベーション推進室長）

ICT は日進月歩であるので、状況の変化に応じて、適宜、取組内容を見直し、対応する必要がある。アクションプランを作成しても、早ければ数か月後に新たな技術が登場し、内容の見直しが必要になることから、アクションプランは作成せず、ICT イノベーション推進室が伴走支援や予算確認などにより「ICT 戦略」に基づく取組を把握したうえで、「ICT 戦略本部会議」にて報告し、翌年度予算としてその取組をお示しする予定である。

（上下水道局長）

ICT 以外の公民連携については、以前、公民連携の窓口が設置された。今後、上下水道局でも ICT を活用した実証実験等に取り組む予定であるが、公民連携の窓口は ICT イノベーション推進室が担うことになるのか。

（ICT イノベーション推進監）

公民連携の必要性は ICT イノベーション推進室としても認識しており、今後も引き続き、本室として取り組んでいく。

(ICT 政策担当課長)

公民連携について、「ICT 戦略」においては、その趣旨をオープンデータやビッグデータの活用の部分で記載しているところであるが、引き続き具体的な取組について検討していく。

(市長)

公民連携の窓口として「堺コネクテッドデスク」を立ち上げており、民間企業等からの提案は、まずはそこを通じて、ICT に関わる内容であれば、ICT イノベーション推進室がサポートしていただいたい。

(市長公室長)

5つの戦略は重要であり、その趣旨は理解できる。だからこそ、着実にこの戦略を進めるために、だれがいつまでに何をやるのかというロードマップや進捗管理・効果検証が重要だと考える。戦略決定後、どのような仕組で進めていくのか。

(ICT イノベーション推進監)

「ICT 戦略」に基づく具体的な取組に関しては、ICT イノベーション推進室が伴走支援等の取組を通じて、各課の予算要求を促していくことを考えている。取組の実効性については、本室が取りまとめ、次回の本部会議等で報告することを想定している。なお、進捗管理等をどうするかは、引き続き検討していく。

(市長)

戦略の中の取組にもあるが「データによる検証」は重要。例えば手続きのオンライン化を進める中で、各局の進捗状況を「見える化」することにより、堺市の ICT 政策の進み具合が分かり易くなると考えている。それを組織目標にも掲げるとともに、予算編成においても、目に見える形で、データを活用していただいたい。

データを活用するのは、職員の頑張りを、市民に分かり易く伝えるためでもある。すべてをデータ化しようというわけではないが、可能なものはデータで示すことで、市民の信頼を得ることができると考えている。また、どのようなデータを活用するかも重要なので、職員それぞれが意識を持って進めてほしい。

(ICT イノベーション推進監)

それでは、事務局が説明した案のとおり決定し、今後「堺市 ICT 戦略」に基づく取組を進めていくこととする。

【終わりに】

(市長)

コロナ禍において、ICT の活用・デジタル化の推進というのは、ますます重要性が

増してきている。これまで、長い時間をかけて取組もうとしてきたことが、この1年・2年で進めることが出来るようになってきている。

これから、堺市はデータを積極的に活用し、デジタル化を進めていくが、ベースとなるのは、「ICT戦略」にもある「情報セキュリティの強化」である。データの活用にあたっては情報セキュリティの確保が課題になってくる。データの活用と情報セキュリティの確保については、各所管だけでなく、堺市に関係する指定管理者・外郭団体・関係機関等においても、情報セキュリティに対する意識を共有できるように行っていきたい。

これまで、堺市として、ICTの活用は進んでこなかったところであるが、今回「ICT戦略」を定めて、「政令市の中で先頭を走っている」というまでは、すぐには難しいかもしれないが、堺市の取組が広く伝わるように、協力して取り組んでもらいたい。